

11月 たかた

コミュニティスクール高田
校長 河内 圭一
令和元年11月15日



全校での「稲刈り」体験。たのしかった！



10月21日（月）、6月の田植え体験の後、今度は、りっぱに実った稲の「稲刈り」を体験させて頂きました。米づくり名人の深町様の説明を受けた後、3・4年、2・5年、1・6年が軍手をはめ、かまを持ち、一株一株、ていねいに稲を刈っていきました。

初めての稲刈りで少し不安ぎみだった1年生も6年生が教えながら稲を刈っていきました。上級生は、手際よく稲を刈っていきました。



感動的な式、2分の1成人式。



今年も、「2分の1成人式」が学校開放日の11月5日（火）に本校体育館で行われました。学校運営協議会会長の青山伸介様より、4年生12人一人ひとりに「2分1成人証書」が手渡されました。

その後、4年生は、一人ひとり、堂々と壇上から自分の将来の夢や希望を大きな声で語りました。是非、夢を実現してもらいたいものです。

証書受領後、4年生の「10歳の言葉」や保護者代表の言葉、全校児童による「よびかけ」を行いました。最後には、6年生が太鼓で式を締めくくりました。とても感動的な式になりました。



保護者代表の言葉



4年生12人



祝い太鼓

お年寄りの方がほほえむ街に！

11月10日（日）、イイツカコスモスコモンにて、「いづか小学生の討論会」がありました。本校からは、6年生の椋本仁呼さんが出場し、「お年寄りの方がほほえむ街」という題で、意見を発表しました。



「お年寄りの方がほほえむ街、飯塚市」
飯塚市立高田小学校 6年椋本仁呼

私の自宅の横には、飯塚市と福岡市をつなぐ国道があります。私もたまに、福岡市に家族と遊びに行くことがあります。そこは、きれいなお店や公園等が立ち並び、たくさんの人々がにぎやかに過ごしていて、私も楽しそうだなと思うことがあります。

しかし、私は、いつも、私たちの時代まで、一生懸命に働いて、この高田や飯塚市を創り上げて下さったお年寄りのことを思います。

実際、私の身の回りには、移動手段がなく、外出をためらっているお年寄りの方がたくさんいます。そのお年寄りの方が無理なく買い物や病院、駅などに行ける交通機関が充実すればいいなあとも思います。

正直、私も、都会の街へのあこがれがあります。しかし、今までの飯塚市を創り上げてこられたお年寄りの方のことを考えると、お年寄りの方が、さしい街、生きがいを持てる街の方が、本当にみんなが幸せになることができると思います。

学校でも、地域のお年寄りの方を大事にする行事がたくさんあります。私はそんな行事は大好きです。お年寄りの方もうれしそうです。私は、そこでお年寄りの方のほほえみを大事にできるそんな飯塚市になれば、みんなが輝き、みんなが心から住みたい、住み続けたい飯塚市になるのではないかと思います。

